

3年度用 新しい技術・家庭 | 家庭分野

検討の観点と内容の特色



● 教育基本法(第2条)との関連 ●

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
66	文章表現や漢字、仮名遣い、用語等の使い方は適切か。	①本文は敬体を用いて簡潔明瞭に表現されている。 ②文章表現は、小中学校の国語指導との関連を図り、発達段階に応じた適切な用語を用いるとともに、中学校以降で学習する常用漢字には全てふり仮名が付されている。 ③専門的な用語については、側注や脚注などで、生徒が理解しやすい簡潔な表現で解説が補足されている。 ④家庭分野の学習を理解するために必要な衣食住に関する独特の言い回しや名称を、巻末の「言葉のページ」で解説し、学習の進捗を助け、正しく理解することができるように配慮されている。	→①②全体 →③p.25, 118, 171, 186, 220など →④p.286-287
5 用紙・印刷・造本			
67	造本は、学習効果を高めるように工夫されているか。	①大判の紙面を有効に使い、資質・能力の育成や、主体的・対話的で深い学びなど、学習指導要領の改訂に関わる情報量を充実させながら、見やすい紙面が実現されている。 ②大きな判型を生かし、ダイナミックな写真を用いることで、生徒の興味・関心を高めることができるように工夫されている。 ③折り込みページを用いて効果的に学習を進めることができるように工夫されている。	→①②全体 →③p.33-36
68	表紙、紙質、製本は適当であるか。	①3年間の使用に十分耐えうるよう、表紙は汚れにくく、防水効果や強度を高めるための加工（PP加工）が施されている。 ②本文用紙は、製紙会社と共同で開発した軽量の紙が使用されており、生徒の身体的な負担に配慮されている。裏抜けを抑え、食品の鮮やかさや人物の肌の温かみが豊かに表現されている。 ③長期の使用に耐えるよう、堅牢に製本されている。	→①②③全体
69	印刷、製本において、環境への配慮は十分になされているか。	①再生紙や植物油インキを使用するとともに、製本の接着剤についても、環境に配慮されたものが用いられている。 ②製本は、金属を使用しないことによる省資源化や紙のリサイクルの観点から、針金を使用しない「あじろ綴じ」が用いられている。	→①②全体
70	印刷は鮮明であるか。	①印刷は文字の欠けやかすれがなく、写真がより鮮明に表現されるように配慮されている。 ②印刷用インキには植物油インキを使用し、化学物質に過敏な生徒も学びやすいように配慮されている。	→①②全体

総合的所見

教科書全体を通して、総合的にどのような配慮を施した改訂となっているか。	<p>●上記のように、教科書全体を通してさまざまな創意を凝らし、配慮を施した改訂を行っており、以下のことが実現されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○基礎的・基本的な学習内容は本文ページで漏れなく押さえ、その他の豊富な資料や実習例は本文ページと明確に区別し、かつ選択性を持たせているため、バランスよく学習を進められる。新任や臨時免許の指導者にも使いやすい教科書になっている。 ○内容や配列など全体にわたり、小学校での学習を引き継いで積み重ね、高等学校へのスムーズなつながりを促す工夫が施されるなど、学習の系統性を踏まえた教科書になっている。 ○資料や実習例の充実で、指導計画や実態に合わせて学習を深めたり広げたりすることができる教科書になっている。 ○他教科との関連が随所に示されるほか、他教科のDマークでは紙面を実際に見ることができ、カリキュラム・マネジメントの一助となる教科書になっている。 ○全体を通して記入例やワークシート例、話し合いの場面などが充実しており、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。 ○デジタルコンテンツなどが充実し、全ての生徒が学びやすいよう配慮されている。
-------------------------------------	---

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
1	第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができるように工夫されているか。	①問題解決の過程が明示され、生活の中から課題を見つけて解決するプロセスを繰り返すことで、生活をよりよくできるように配慮されている。 ②他教科や道徳との関連を「他教科」マークで示すとともに、随所に技術・家庭科の特質に応じた道徳教育に関連する場面が示され、道徳教育の充実に配慮されている。 ③人との関わりを示す場面では、明るくあたたかい写真やイラストを豊富に掲載し、豊かで健全な心が養われるように配慮されている。 ④食育を重視し、食生活の内容の充実を図り、教科書の前半に位置付けて健やかな身体を養うことができるように工夫されている。	→①p.8-9, 268-269 →②p.22, 29, 110, 111, 164, 174, 196, 214, 253, □絵④など →③p.4-19, 210-213, 242-247, 254-255など →④p.20-105など
2	第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるように工夫されているか。	①家族・家庭生活の資料「自分らしく生きる」では自分らしく生きることの尊さを示し、個人の価値を尊重するように配慮されている。 ②多様で豊富な実習例では、個々にできる工夫例「私のオリジナル」等が随所に設けられ、創造性を培うことができるように配慮されている。 ③主体的に思考・判断・表現しながら生活の中の問題解決に取り組むことを重視し、自主及び自律の精神を養うことができるように配慮されている。 ④学習内容に関連した職業に就く人からのメッセージを「プロに聞く！」としてコラムで紹介したり、将来を見通す場面を設けたりして、職業と生き方、勤労の価値などについて考えられるように配慮されている。	→①p.266 →②p.67, 73, 81, 142, 144, 150, 152など →③p.8-9, 267-277など →④p.43, 92, 131, 151, 155, 177, 207, 251, 259, 282-283など
3	第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるように工夫されているか。	①家庭や学校、地域における生活のあらゆる場面で性別や世代を超えた話し合い活動や協力して作業する姿を写真やイラストで示し、男女の平等や自他の敬愛と協力・協働を重んじる態度を養うことができるように配慮されている。 ②幼児や高齢者、外国籍の人、障がいのある人など多様な人々との共生を目指して、それらの人々と関わっている場面を写真やイラストで取り上げ、共生の大切さに気づき、多様な他者との協力・協働につながるように配慮されている。	→①p.4-19, 23, 98, 179, 210-213, 219, 260-261, 279, 防災・減災手帳p.9など →②p.4-19, 170-173, 210-266など
4	第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように工夫されているか。	①生活の中で環境に配慮している場面を随所に取り上げ、家庭分野の学習を通して持続可能な社会を目指す態度が養われるように配慮されている。 ②環境に関連する内容には「環境」マークを付し、環境の保全に寄与する態度が養われるように配慮されている。 ③巻末資料「持続可能な社会を目指して」でSDGsを取り上げるとともに、1～4編の最終節は持続可能な社会を目指す学習で統一され、持続可能な社会の構築に寄与する態度を養うことができるように配慮されている。	→①p.86-87, 150-151, 178, 202-205など →②p.52-53, 150, 178, 198, 202, 219など →③p.96-99, 154-155, 178-179, 206-207, □絵⑤・⑥
5	第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように工夫されているか。	①日本や郷土に昔から伝わる料理や食材、衣服、住まいを写真で数多く取り上げ、それらに誇りや愛着を持ち、継承できるように工夫されている。 ②他国から伝わった食、他国の民族衣装や住まいを紹介し、異文化への理解が深まるように工夫されている。 ③SDGsやオーガニックコットン製品、フェアトレードなどについて扱い、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように工夫されている。	→①p.90-95, 112-115, 164-167など →②p.68, 76-77, 115, 167 →③p.206-207, 209, □絵⑦・⑧など

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
6	学習指導要領の教科の目標に則っているか。	①中学校学習指導要領（技術・家庭科）で示された「教科・分野の目標及び内容」、「指導計画の作成と内容の取扱い」に準拠し、必要かつ十分な内容を適切に扱っている。	→①全体
7	実践的・体験的な学習活動を通して、3学年間の見通しを持って教科の目標が達成できるように配慮されているか。	①多様な実習例を数多く取り上げ、学校の実態や生徒の個性に応じた 実践的・体験的な学習活動 が行えるように工夫されている。 ②調理の実習例は、主題材と参考題材で 52題材 を取り上げ、各学校の授業時数に応じて題材を選べるように配慮されている。 ③布を用いた製作の実習例は、資源や環境に配慮した例を新設して簡単な衣服から小物まで、多彩な工夫例をちりばめて 約37題材 を取り上げ、各学校の授業時数に応じて題材を選べるように配慮されている。 ④幼児との触れ合い実習については、「施設訪問」「中学校への招待」「写真での観察」の3例を取り上げ、各学校の実態に応じて実施できるように配慮されている。また、触れ合い先を幼稚園、保育所、認定こども園だけでなく、児童館、地域の親子、NPO法人などの保育の場も例示している。 ⑤家族や地域の人との関わりや、高齢者との関わりを考える ロールプレイング 、消費者トラブルへの対処法を考える漫画での 活動例 などを示し、楽しみながら実践的・体験的な学習活動ができるようにしている。	→①p.66-69, 72-77, 80-89, 142-153, 242-247など →②p.63, 66-69, 72-77, 80-89, 93, 230-231 →③p.142-153 →④p.242-247, 252 →⑤p.195, 201, 257, 259, 261-263など
8	内容の配列は学習の展開を考慮し、系統的、発展的に組織され、配列、分量は適切か。	①全国の学校の実態を踏まえ、「ガイダンス」「1編 私たちの食生活」「2編 私たちの衣生活」「3編 私たちの住生活」「4編 私たちの消費生活と環境」「5編 私たちの成長と家族・地域」「生活の課題と実践」の順で教科書の配列が「自立から共生」のストーリーになるよう工夫されている。 ②「家庭分野のガイダンス」を巻頭に位置付け、小学校での学習を踏まえて、中学校で学習することを概観できるように工夫されている。また、内容Aの幼児や高齢者の学習が後半に位置付けられ、高等学校への円滑な接続を促すことができるように配慮されている。 ③「生活の課題と実践」は巻末にまとめ、各学校の実態に応じて、また内容を複合的に選択して履修できるように配慮されている。 ④それぞれの編の各章・節の内容は、学習指導要領の内容を踏まえて、学習が系統的に進められるよう、 基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで 丁寧に記述されている。 ⑤各内容の分量は、時数、学期、学年配分等から見て 偏りがなく適切 である。	→①全体 →②p.4-17 →③p.267-277 →④⑤全体
9	生活の営みに係る見方・考え方を働かせた深い学びの実現につながる工夫がなされているか。	①「家庭分野のガイダンス」において、 生活の営みに係る見方・考え方が マークやイラストを用いて解説されている。マークやイラストでイメージを持ち、生活や学習の過程で見方・考え方を働かせて理解を深めることができるように配慮されている。 ②各編の導入において、 関連する見方・考え方をキーワードで例示 し、多角的な視点から考えたり、判断し決定したりして、楽しみながら問題解決に取り組めるように工夫されている。 ③キャラクター「ミカタン」のせりふは見方・考え方を示唆する内容になっており、生徒が見方・考え方を働かせて思考し、深い学びが実現できるように工夫されている。	→①p.8-9 →②p.20, 106, 158, 184, 212 →③p.9, 20, 59, 112, 178, 196, 217など
10	主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されているか。	①「主体的・対話的で深い学び」につながる場面として「活動」を数多く取り上げ、主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討したりするための発問を設けるなど、深い学びが実現できるように工夫されている。 ②物事を考えたり意見を整理したりする際に有効な 思考ツール を「活動」の中で随所に取り入れ、生活の課題と実践の資料では思考ツールの例をまとめている。思考ツールを活用した「主体的・対話的で深い学び」を通して、 問題解決能力を高める ことができるよう工夫されている。 ③各節末に「自己評価」の欄を設け、学習に主体的に取り組めるように配慮されている。	→①p.42, 62, 131, 135, 162-163, 199, 227, 259, 262-263など →②p.70, 116, 117, 163, 191, 248, 271など →③p.23, 109, 163, 187, 215など
11	カリキュラム・マネジメントが行いやすいように配慮されているか。	①「リンク」「他教科」「小学校」マークを用いて教科間・学校種間の連携が図られ、教科関連を示すDマークは Dマークコンテンツ として他教科の関連する内容の教科書紙面を見ることができるよう工夫されている。	→①p.10-11, 22, 26, 29, 108, 110, 111, 164, 174, 186, 196, 214, 217, 253など

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
11		②各編の導入には、「 小学校家庭科での学習 」をチェック形式で示し、学習の関連を図ることができるように工夫されている。 ③ 巻末資料「深まる、広がる家庭分野の学習 」には、技術分野や他教科、道徳とのつながりを学習内容別にマップで示し、学習の広がりを見ることができるよう工夫されている。	→②p.20, 106, 158, 184, 212 →③口絵④
12	問題解決的な学習過程を重視した学習の充実を図っているか。	①「 問題の発見→課題の設定→計画→実践→評価→改善→次の課題への挑戦 」といった問題解決のプロセスをガイダンスで丁寧に説明するとともに、生活の課題と実践ではより具体的に解説して、生活の中で自ら問題解決に取り組むことができるように工夫されている。	→①p.8-9, 268-269
13	知識及び技能の習得への取り組みは適切か。	①本文中の重要語句は ゴシック体 で強調し、 基礎的・基本的な知識 を確実に習得できるように工夫されている。 ②本文等の内容を裏付ける実験などの資料を取り上げ、 科学的な根拠 に基づいた知識が習得できるように工夫されている。 ③本文を補足したり応用したりする内容は、側注や「資料」などのコラムで、本文とは分けて記述されている。 ④各節の最後には「 まとめの活動 」を設け、知識の定着を図っている。 ⑤必ず身に付けさせたい基礎的な技能を「 いつも確かめよう 」にまとめ、技能を確実に習得できるようにしている。また、技能の習得のために、 基礎技能 を用いてできる実習例や、難易度の低い実習例を取り上げている。	→①全体 →②p.54, 65, 123, 164, 169, 222, 227など →③p.23, 108, 161, 187, 215など →④p.23, 109, 163など →⑤p.54-63, 69, 124-131, 136-141, 148-149など
14	思考力、判断力、表現力等の育成への取り組みは適切か。	①ガイダンスの「 問題を解決する道筋 」では、家庭分野の問題解決的な流れを具体例とともに示し、その後の学習や生活の場での問題解決に生かすことができるように工夫されている。 ② 生活の課題と実践 では、 問題解決のプロセス に沿って実践できるように、すべての実践例が問題解決の流れで示されている。 ③ 調理実習の手順、製作の手順、触れ合い体験の流れ では、実習の流れを示し、見通しを持って実習に取り組むことができるように工夫されている。 ④実習例では「 私のオリジナル 」として工夫例を取り上げ、生徒の創造性を引き出すことができるように工夫されている。 ⑤各編の 導入 は見開きで構成し、資料性の高い写真やイラストなどを用いて生徒の興味・関心を高め、見方・考え方の例を示してあらゆる視点から考え、問題解決的な学習へと結び付くように配慮されている。	→①p.8-9 →②p.272-277 →③p.52-53, 133, 240-241 →④p.67, 73, 75, 142, 150など →⑤p.20-21, 106-107, 158-159, 184-185, 212-213
15	学びに向かう力、人間性等の育成への取り組みは適切か。	①ガイダンスに「 家庭分野の目標 」が写真とともに明記され、「 何のために学ぶのか 」を理解して学習に取り組むことができるように工夫されている。 ②各節の始めには「 目標 」を掲げ、見通しと課題意識を持って学習を進めることができるとともに、各節の最後には「 自己評価 」欄を設け、自分なりに学びを見つめ返し、 自己調整力 を高める機会となるよう工夫されている。 ③ガイダンス及び各編の導入では、見方・考え方について例示し、生活の営みに係る見方・考え方から よりよい生活を創ろうとする態度 を身に付けることができるように工夫されている。 ④脚注には、身近な生活に関わる物事について興味を持って読むことができる豆知識「 せいかつメモ 」が掲載されている。	→①p.4-5 →②p.22-23, 108-109, 160-163, 186-187, 214-215など →③p.8-9, 20, 106, 158, 184, 212 →④p.22, 108, 160, 186, 214, 268など
16	家庭分野のガイダンスを行うための適切な配慮がなされているか。	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、小学校家庭科の学習を振り返るとともに、中学校技術・家庭科家庭分野の3学年間の学習の見通しを持たせることをねらいとして、「 家庭分野のガイダンス 」を巻頭に設けている。 ②「家庭分野のガイダンス」の扉ページには、「 家庭分野の目標 」を示して「 何のために学ぶのか 」を明確にするとともに、学習に関連する写真でイメージが持てるように工夫されている。 ③ガイダンスは「 自立と共生を目指そう 」「 問題を解決する道筋と見方・考え方 」「 中学校家庭分野の学習内容を見てみよう 」「 自分の生活をチェックしよう 」「 自分と家族との生活を見つめよう 」「 家族・家庭の基本的な機能 」として、内容A「家族・家庭生活」の内容を含めて多様な 6つのテーマ で構成し、授業時間数等に応じて柔軟に選択して学習できるように工夫されている。	→①p.4-17 →②p.4-5 →③p.4-17

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
16		④生活の営みに係る見方・考え方がマークやイラストを用いて具体化されている。マークやイラストでイメージを持ち、生活や学習の過程で見方・考え方を働かせて理解を深めることができるように配慮されている。 ⑤「 家族・家庭の基本的な機能 」では、家族・家庭生活を軸とした家庭分野の学習の広がりやつながりをイラストなどで表現するとともに、各編扉でも示し、学習が円滑に進められるように工夫されている。 ⑥全体として、これまでの生活や学習を振り返って3学年間の学習を見通すほかに、問題解決の流れを示したり、家族・家庭の基本的な機能を新設したり、生活の営みに係る見方・考え方を丁寧に解説したりするなど、 3学年間の学習の基盤となる内容 が盛り込まれている。	→④p.8-9 →⑤p.16-17 →⑥p.4-17
17	内容A「 家族・家庭生活 」は、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、生活に生かすことができるように工夫されているか。	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、「 家庭分野のガイダンス 」で小学校家庭科との関連を図って家族・地域の内容を取り上げるなどし、指導が難しいとされる 家族や幼児、高齢者 の内容が円滑に進められるようにしている。 ② ガイダンスと関連を図り 、内容Aの5編では改めて家族との生活や基本的な機能を振り返り、家庭・地域での自立を考える1章、幼児について学ぶ2章、1～2章の学びを生かして、家族や高齢者・地域との関わり方を工夫する3章といった構成で、 ストーリー性 を持たせている。 ③ 幼児や高齢者 に関する内容は第2学年後半から第3学年での履修を想定し、編や節の内容を 教科書の後半 に位置付けるなど、実態に合った構成となるように工夫されている。 高等学校の学習へつなげる こともできる。 ④ 生徒のプライバシー に関わる家族についての記述は、踏み込み過ぎないように十分に配慮し、 絵本 を活用した活動例を新設したり、架空の家族を 漫画 で示したり、 ロールプレイング などを取り入れたりして、客観的に家族について考えられるように配慮されている。	→①p.4-17 →②③p.210-266 →④p.215, 256-257, 262-263など
18	内容B「 衣食住の生活(食生活) 」は、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、生活に生かすことができるように工夫されているか。	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、食生活の内容を系統的に学習できるように、 食生活の振り返り、栄養、献立、調理、地域の食文化 で構成している。 ② 食品の実物大写真、6つの食品群 をはじめ、多くの食品を 写真 で紹介し、生活経験の少ない生徒でも実感を持って学べるように工夫されている。 ③ 調理実習 は豊富な題材例数を、鮮明な写真とともに紹介し、生徒の 関心・意欲 を高めるように工夫されている。 ④和食、地域の食材、各地の雑煮や郷土料理を写真で紹介するなど、 日本や郷土の文化を大切に する心を育むように配慮されている。 ⑤食料自給率や食品ロス、フード・マイレージなどの資料が充実し、食生活に関わる問題を グローバルな視点 から考えられるように工夫されている。	→①p.20-105 →②p.33-41など →③p.63, 66-69, 72-77, 80-89, 93, 230-231 →④p.90-95 →⑤p.96-99
19	内容B「 衣食住の生活(衣生活) 」は、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、生活に生かすことができるように工夫されているか。	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、 1章で「衣服の選択と手入れ」、2章で生活を豊かにする物を作る「生活を豊かにするために」 の流れで構成している。 ②日本の文様、地域の衣文化の例、浴衣の着用など、和服に関する内容を写真で紹介し、 日本の文化を大切に する心を育むように配慮されている。 ③ 布を用いた製作実習 では、指導計画に応じて柔軟に対応できるよう、幅広い難易度で題材数が充実している。また、完成写真は生活で活用している場面が紹介され、生徒の 関心・意欲 を高めるように工夫されている。 ④ 資源や環境に配慮した製作 の例として、余り布を用いた小物や衣服のリフォーム・リメイクを取り上げている。リフォーム・リメイクは活動例で考え方を示し、スムーズな導入を図ることができるように工夫されている。	→①p.106-157 →②p.112-115, 155など →③p.142-153 →④p.148-151など
20	内容B「 衣食住の生活(住生活) 」は、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、生活に生かすことができるように工夫されているか。	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、 住まいの役割と安全な住まい方 を系統的に学び、 地域・社会との持続可能な住生活 を学ぶ流れで構成している。 ②和式の住まいの特徴や気候風土に合わせた日本各地の住まいの例を写真で紹介するなど、 日本の文化を大切に する心を育むように配慮されている。 ③ 家庭内事故や自然災害への対策 に関する内容が充実し、大きな1枚イラストを用いての活動や、中高生が被災時にできたこと、避難所や仮設住宅での暮らしをよりよくする工夫などの資料から多彩な安全教育が実践できるように配慮されている。 ④巻末付録に「 防災・減災手帳 」が新設され、家庭分野ならではの 防災・減災 についての学習ができるように工夫されている。	→①p.158-181 →②p.164-167 →③p.170-177 →④巻末付録「防災・減災手帳」

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
21	内容C「 消費生活・環境 」は、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、生活に生かすことができるように工夫されているか。	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、 購入方法と支払い方法、計画的な金銭の管理、消費者トラブル、消費者の権利と責任、環境に配慮した消費生活 の流れで構成している。 ②販売方法と支払い方法、三者間契約の仕組み、消費者の権利と責任、消費者トラブルなどは、 イラストや漫画、Dマークコンテンツ で示し、生徒が 興味・関心 を持って学べるように配慮されている。 ③生活者として自立するために大切な「 意思決定のプロセス 」を明確に示している。また、食生活、衣生活の学習でもこのプロセスを扱い、繰り返し学習することで意思決定能力を身に付けることができるように工夫されている。 ④省エネルギーや3R、エシカル消費などの内容は、 衣食住の学習内容との関連 を図り、相互に学習が深められるように工夫されている。	→①p.182-209 →②p.186-195, 200-201など →③p.44-45, 116-117, 196-197 →④p.96-99, 154-155, 178-179, 202-207など
22	選択必修「 生活の課題と実践 」は、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、生活に生かすことができるように工夫されているか。	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、各学校の実態に応じて選択して履修できるよう、全ての 学習内容の後ろ にまとめている。 ② 生活の課題と実践の進め方 を、ガイダンスの 問題を解決する道筋 と同じ流れで構成し、繰り返し学習することで生活における実践力を高めることができるように工夫されている。 ③「 課題の決め方 」や軽重のある充実した「 実践例 」で、生徒が自分なりの課題を見つけることができるように工夫されている。 ④各編の「 学習のまとめ 」では、各学習内容における 興味・関心 を持ったことや自分なりの課題を書く記述欄を設け、 生活の課題と実践のテーマにつなげる ことができるようにしている。 ⑤ 実践例 は、テーマとなる衣食住、消費生活・環境、家族・家庭生活の 学習内容等の関連 が分かるように示し、実践の流れや発表の方法とともにレポート例、プレゼンテーションソフトウェア例、ポスター例、新聞例の 作品例で掲載 し、生徒の言語活動を促して表現力を育むように配慮されている。	→①p.267-277 →②p.8-9, 268-269 →③p.270, 272-277 →④p.101, 157, 181, 209, 265 →⑤p.272-277

● 教科書構成上の配慮と工夫 ●

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
1 内容の構成・配列・分量			
23	教科書の構成は、 系統性 を踏まえたものになっているか。	①表紙をめくってすぐのページに目次を配置し、学習内容が見渡せるように工夫されている。 ②巻頭の「 教科書の構成 」では、教科書の構成やマークの意味について説明し、教科書の構成を理解したうえで活用できるように工夫されている。 ③各編は、「 編の導入 」→「 基本ページ 」→「 学習のまとめ 」の構成で統一し、実習例や資料はその構成の中で適切に取り上げている。 ④ 基本ページ では、生徒が学習を一目で見渡せるように、 学習内容を見開きで構成 している。 ⑤各節の始めには「 始めの活動 」を設け、課題意識を持って毎時の学習に取り組めるようにしている。また、各節の最後には「 まとめの活動 」を設け、学習したことを生活に生かすことができるようにしている。更に、随所に具体的な学習活動や問い、思考の助けとなるような資料を示し、主体的に問題解決的な学習を進められるようにしている。	→①口絵 ①-② →②口絵 ③ -p.1 →③口絵 ③ -p.1 →④口絵 ③ -p.1 →⑤p.22-23, 108-109, 160-163, 186-187, 214-215など
24	関心や意欲 を持ち、 主体的に学習活動に取り組む工夫 がされているか。	① 衣食住の生活の内容 が教科書の前半に位置付けられ、 興味・関心 を高める構成になっている。 ②編の導入には「 この編で学ぶこと 」、各節には「 目標 」という学習の到達目標をはっきりと示し、見通しを持って学習を進めることができるように配慮されている。 ③ 写真やイラストなどの資料 を効果的かつ豊富に用いているほか、 防災・減災手帳 や 子どもの視界体験眼鏡 といった付録が充実し、学習への 興味・関心 を高めるように工夫されている。	→①口絵 ①-② →②p.20, 22, 106, 108, 158, 160, 184, 186, 212, 214など →③p.36-39, 172-173, 201, 226, 巻末付録など

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
24		④各節の導入には「 始めの活動 」を設け、生徒の興味・関心や意欲を高めるように工夫されている。 ⑤調理や布製作の実習例はさまざまな難易度の題材を取り揃え、幼児との触れ合い体験はさまざまな形式の体験方法を提示し、 生徒や学校の実態に応じて選択 できるように配慮されている。 ⑥実習例の「 私のオリジナル 」では、簡単な工夫例を取り上げ、自分なりの工夫や、家庭での実践を促すように工夫されている。 ⑦さまざまな 思考ツール を取り上げ、生徒が主体的に学習活動に取り組めるように配慮されている。 ⑧ レポート例 などが充実しており、生徒が自ら学習をする際の参考として扱うことができるように工夫されている。	④p.22, 108, 160, 186, 214など ⑤p.63, 66-69, 72-77, 80-89, 93, 142-153, 230-231, 242-247 ⑥p.67, 73, 75, 142, 143など ⑦p.70, 116, 117, 163, 191, 248, 271など ⑧p.30, 111, 176, 249, 272-277など
25	学習評価を適切に行えるように配慮されているか。	①各節の冒頭に観点別評価につながる「 目標 」が示されている。 ②各節末には「 自己評価 」の記入欄が設けられている。 ③各編末には「 学習のまとめ 」が見開きで設けられ、学習を振り返って確認し、それに基づいて復習できるように工夫されている。また、編ごとに学習を振り返って生活に生かしたいことを記述する欄を設け、学んだことが生活に生かされるよう配慮されている。	①p.22, 108, 160など ②p.23, 109, 163など ③p.100-101, 156-157, 180-181, 208-209, 264-265
26	身に付けた知識及び技能を生活に生かすことができるように配慮されているか。	①各節の「 まとめの活動 」に「 生活に生かそう 」を設け、節の学習を生活に生かせるようにしている。 ②各編末の「 学習のまとめ 」に「 生活に生かそう 」を設け、編の学習を総合的に生活に生かせるようにしている。 ③「 生活の課題と実践 」では、「 課題の発見→計画→実践→振り返り 、 評価→改善→次の課題への挑戦 」の流れを具体的に実践例で示し、生徒が家庭分野で学習したことが無理なく実践できるように工夫されている。	①p.25, 39, 115, 167, 191, 249など ②p.101, 157, 181, 209, 265 ③p.268-269
27	これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てることができるように配慮されているか。	①ガイダンスの「 自立と共生を目指そう 」では、自分の成長を振り返るとともに、これからの自分について考えられるように配慮されている。 ②ガイダンスの「 自分の生活をチェックしよう 」には3年後の自分について記述する欄を設け、巻末の「 家庭分野の学習を終えて 」には未来の自分へ手紙を書く欄を設け、これからの生活を展望し、よりよいものにしようとする意欲と態度を引き出すように工夫されている。 ③教科書の最終ページ「 持続可能な社会を目指して 」では、ともに学んできた仲間とよりよい生活を目指して、明るく豊かな未来を切りひらくよう促し、持続可能な社会の構築を意識してこれからの生活を展望できるよう工夫されている。	①p.6-7 ②p.12-13, 278-279 ③口絵⑤-⑥
28	生徒一人一人の興味・関心に応じた指導の工夫がされているか。	①生徒が自らの 生活を振り返って 課題を発見するための発問を提示している。 ②生徒の興味・関心に応じて実習題材を選ぶことができるように、 幅広い難易度の実習題材 を豊富に揃えている。 ③実習ページに「 私のオリジナル 」を設け、生徒一人一人の工夫を促すことができるようにしている。 ④脚注に豆知識である「 せいかつメモ 」を設け、興味・関心に応じて扱うことができるように工夫されている。	①p.24, 116, 196, 218など ②p.63, 80-89, 142-153, 242-247など ③p.67, 73, 75, 142, 150など ④p.22, 108, 160, 186, 214, 268など
29	本文・イラスト・写真・図表等は適切に配分、構成されているか。	①本文・イラスト・写真・図表等の配分は適切で、かつ関連を持たせた構成にしている。指導計画等に応じて活用できるよう、図表などの資料が充実している。	①全体
30	本文や図表等の文字の書体や大きさ、行間などは適切か。	①色覚特性に関するボランティア団体や特別支援教育の専門家の協力を得て、 誰でも読みやすく、正確な書体 を選定し、使用されている。また、文章は、本文、図表中とも、大きさや行間が読みやすいように配慮されている。 ②ふり仮名は特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体を用いて、読みやすくなるように配慮されている。	①②全体
31	地域や学校の実態に応じた指導に生かせるように配慮されているか。	①豊富な資料を掲載し、 どのような指導計画にも対応 できるようにしている。 ② 豊富な実習例 を提示することで、地域や学校の実態に応じて、選択して指導できるように配慮されている。 ③47都道府県の「 日本各地の郷土料理 」「 地域に伝わる衣の文化の例 」のほかにも、各地域における事例が数多く掲載されている。	①全体 ②p.63, 80-89, 93, 142-153, 242-247など ③p.93, 94-95, 113, 166-167など

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
32	内容は正確で、かつ一面的なところはないか。	①本文、図表、写真とも、正確かつ公平に記述されている。	①全体
33	資料、統計などの出典、出所が明示されているか。	①資料、統計などの出典、出所が明記されている。	①全体
34	レイアウトは見やすい工夫がされているか。	①各節では、「 目標 」「 始めの活動 」「 まとめの活動 」などを、全て同じ位置に配置し、生徒が混乱しないように配慮されている。 ②各編と各章、「 実習例 」「 いつも確かめよう 」の見開きの右端下に、 爪となる色帯 を施し、すぐに検索できるように工夫されている。 ③実習例等のページをはじめ、 見開きで概観 することができるように、ページをめくる方向と同じく 左から右へと読み進める ことができるレイアウトになるよう工夫されている。	①p.22-23など ②全体 ③p.72-73, 242-243など
35	表紙での学習内容への配慮はされているか。	①表紙にサブタイトルとして「 自立と共生を目指して 」と明記し、家庭分野の目指すものを強調している。 ②表紙から裏表紙に渡るイラストは、 SGDs をテーマに 技術分野とつながる表紙 になるよう工夫されている。家族や地域の人と住まい、調理、衣服の手入れ、買い物などを行っている様子を見ることができ、家庭分野全体の学習をイメージすることができる。技術分野の未来をイメージしたイラストと町並みがつながり、これからの生活を想起させることができる。 ③中学生の興味・関心を高める実習例の写真が掲載されている。	①②③表紙
2 全ての生徒が使いやすい紙面への配慮			
36	特別支援教育に配慮されているか。	① ふり仮名 は、特別支援教育で推奨されている 丸ゴシック体 を用い、可読性を高めるように配慮されている。 ②基本ページでは、「 目標 」「 始めの活動 」「 まとめの活動 」などが全て同じ位置に配置されている。 ③実習の手順などを左から右に読み進める 横の流れで統一 し、見やすく理解しやすいように工夫されている。 ④生徒の巧緻性に配慮し、作業する手や姿勢の写真などを豊富に掲載するとともに、包丁の使い方や手縫いの内容では、 左利きの例 も取り上げられている。 ⑤キャラクターのせりふは全て文節改行にし、読みやすさに配慮されている。 ⑥特別支援教育の観点から、内容及びデザインについて検討し、専門家による校閲を受け、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮されている。	①全体 ②p.22-23など ③p.52-53, 72-73, 242-243など ④p.58-59, 127-129など ⑤p.8-9, 22など ⑥全体
37	色覚特性への対応など ユニバーサルデザイン に配慮されているか。	①書体は全て ユニバーサルデザインフォント（UD書体） を使用し、可読性を高めるように配慮されている。 ② カラーユニバーサルデザイン の観点から、配色とデザインについて検討し、色覚に関する専門家の校閲を受けている。	①②全体
38	人権や福祉 に配慮されているか。	①幼児から高齢者まで世代の異なる人、障がいのある人やない人、さまざまな国籍の人、異なる文化や言語を持つ人などが登場し、周囲の人との 共生の大切さを自覚 できるように工夫されている。 ②男女がともに子育てに関わっている姿を写真やイラストで示したり、法律などの資料を取り上げたりして、男女共同参画社会における 男女の協力の大切さ が重視されている。イラストや写真の男女の服装や発言内容が、性別による役割固定にならないように配慮されている。 ③教科書全編を通して、 生徒のプライバシーに配慮 して表現されている。特に、家族の内容では、さまざまな家族形態があり、どれもかけがえのない家族であることが指導しやすいように配慮され、生徒の 自己肯定感を高める ことができるように工夫されている。	①p.6-7, 16-17, 213, 218, 266など ②p.14-15, 282-283など ③p.214-215など
39	生徒の習熟度や進度差 に対応できるよう工夫されているか。	① 幅広い難易度の実習例 を豊富に揃え、授業時数や技能に応じて選べるように工夫されている。 ②「 いつも確かめよう 」は基礎的・基本的な技能をまとめて掲載し、いつでも確認できるように工夫されている。 ③「 小学校 」 マーク を付し、小学校での既習事項を示し、習熟度を確認したうえで学習を積み上げることができるように工夫されている。	①p.66-69, 72-77, 80-89, 142-153, 242-247など ②p.54-63, 124-131, 136-141 ③p.10, 26, 108, 168, 186, 217など

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
40	小学校の学習内容との関連が適切に示されているか。	①学習指導要領による 小学校の学習との系統性 を踏まえ、中学生の発達段階の特徴を考慮した内容を扱い、生活を工夫し創造しようとする態度を養うように配慮されている。 ②家庭分野のガイダンスで、 中学校と小学校の学習内容 を見開きで写真とともに提示し、小学校の学習の上に中学校の学習が積み重なっていることが分かるような構成になるよう工夫されている。 ③各編の導入ページで、「小学校家庭科での学習」をキーワードで挙げて振り返りながら中学校の学習に入ることができるように工夫されている。 ④随所に「 小学校 」マークを付して、小学校で学んだことが示されている。	→①全体 →②p.10-11 →③p.20, 106, 158, 184, 212 →④p.10, 26, 108など
41	他教科の学習や、特別活動、総合的な学習の時間との関連が適切に示されているか。	①随所に「 他教科 」マークを付して、中学校の他教科等（理科、社会、保健体育、数学、国語、書写、美術、道徳など）との学習内容の関連を図り、 教科横断的に学習を深められる ように工夫されている。	→①p.22, 29, 110-111, 164, 174, 196, 214, 253など
42	教科化された 特別の教科「道徳」 との関連が適切に示されているか。	①随所に 道徳の「他教科」 マークを付して、道徳教育との関連を示している。 ②家族や地域の人々との触れ合いや友達との学び合いを通した学習活動を重視し、家庭分野の学習を通して 自他の敬愛や協力、公共の精神が育まれる ように工夫されている。	→①p.22, 110, 209, 214など →②p.4-17, 213, 218-219, 242-247, 258-263など
43	「 発展的な学習内容 」が適切に取り上げられているか。	①当該の箇所には、「 発展 」マークを付け、発展的な学習内容であることを明示している。発展的な学習内容には、基礎的・基本的な内容を踏まえ、 生徒の興味・関心に応じて深めていく ことのできる内容が取り上げられている。	→①p.115, 167, 209, 245, 252-253, 254-255, 284-285
3 今日的な課題への取り組み			
44	社会に開かれた教育課程 を実現できるように配慮されているか。	①学習指導要領に示された「 教科・分野の目標及び内容 」「 指導計画の作成と内容の取扱い 」に準拠し、生徒の 資質・能力 が育まれるよう教科書の構成が配慮されている。 ②各節の冒頭には「 目標 」が示され、 指導と評価の一体化 が図られるように工夫されている。 ③ 家族や家庭、地域 での学習を充実させ、衣食住や消費生活・環境などの学習と関連させて 家族や家庭、地域は生活の基盤 となるものと捉えることができるように工夫されている。 ④ 地域の幼児や高齢者 との関わりを随所に取り上げるとともに、地域の自治会長さんからのメッセージ、地域の祭りや防災訓練などの行事への参加、地域の清掃活動など、中学校段階における 空間軸の広がり を意識した内容の充実が図られている。 ⑤フード・マイルージや食品ロス、フェアトレードなど 社会や世界の状況を幅広く視野 に入れて資料等で取り上げ、よりよい社会を創るために具体的に考えられるよう工夫されている。	→①全体 →②p.22, 108, 160, 186, 214, 268など →③p.14-17, 213, 217, 218-219, 256-263 →④p.14-17, 213, 218-219, 242-245, 252, 258-263など →⑤p.96-99など
45	学校や地域の特色を生かした カリキュラム・マネジメント に資するように配慮されているか。	①随所に「 他教科 」マークを付して、中学校の他教科等（理科、社会、保健体育、数学、国語、書写、美術、道徳など）との学習内容の関連を図り、教科横断的に学習を深められるように工夫されている。 ②特に関連の深い他教科等の内容は、 Dマークコンテンツで他教科の教科書紙面 を見ることができるよう工夫されている。 ③巻末の資料「 深まる、広がる家庭分野の学習 」では、技術分野や他教科との関連をマップで示し、家庭分野の学習が他教科と関連しながら総合的に生活を豊かにしていく 教科 であることが分かるように工夫されている。	→①p.22, 29, 110-111, 164, 174, 196, 214, 253など →②p.24, 27, 166, 174, 186, 192, 222など →③□絵④
46	環境教育 や、 持続可能な社会の構築に向けた取り組み について、十分な取り扱いがされているか（SDGs, ESDへの対応）。	①巻末に「 持続可能な社会を目指して 」を設けるとともに、1～4編の最終節は持続可能な社会を目指した内容で構成され、全ての学習でSDGsの視点から 持続可能な社会の構築に寄与する態度 を養い、学習やこれからの生活を工夫できるように配慮されている。 ② エコクッキング、省エネルギー、エシカル消費、消費者市民社会、アップサイクル、フェアトレード などを取り上げ、持続可能な社会や環境について考えられるよう配慮されている。 ③ 環境、資源・エネルギー について、 循環型社会の推進 を大きなテーマとして扱い、循環型社会のために自分たちにできることが具体的に挙げられている。	→①p.96-99, 154-155, 178-179, 206-207, □絵⑤・⑥など →②p.86-87, 203, 206-207, 209など →③p.205など

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
46		④ 環境 への配慮に関する内容には「 環境 」マークを付して、生徒の意識を高めるとともに、実践に結び付けるよう工夫されている。	→④p.44, 52-53, 132-133, 178, 202-207, 219など
47	道徳教育 との関連に配慮されているか。	①随所に 道徳の「他教科」 マークを付して、道徳教育との関連が示されている。 ②家族や地域の人々との触れ合いや友達との学び合いを通した学習活動を重視し、家庭分野の学習を通して 自他の敬愛や協力、公共の精神 が育まれるように工夫されている。	→①p.22, 110, 209, 214など →②p.4-17, 213, 218-219, 242-247, 258-263など
48	中学生たちが自分の将来を見据えて学習ができるように、 キャリア教育の充実 に配慮されているか。	①「 プロに聞く! 」では、栄養士、建築士、保育士など、家庭分野の学習を生かしたり、関係の深い仕事に就いている人たちからのメッセージを紹介し、生徒の 勤労観・職業観 を育むことができるように工夫されている。 ②巻末には「プロに聞く!」を総集した「 学んだことを社会に生かす 」を設け、家庭分野の各内容を深めて働いている人たちを学習内容別に取り上げ、家庭分野の学習と社会とのつながりを感じられるように工夫されている。	→①p.29, 43, 53, 92など →②p.282-283
49	食育 について、家庭分野がその充実に資するような配慮がされているか。	①家庭分野が担う 食育 の役割の重要性に鑑み、食生活の内容が系統的に学習できるように配慮されている。 ②食生活の内容では、冒頭で食事の役割を押さえ、 自らの食生活を見直す ことで課題を持って後の学習に臨めるように工夫されている。 ③調理実習の 主題材5例 は、完成例の写真と「 目標 」を示し、課題を持って実習に取り組めるように工夫されている。 ④ 実物大の写真 を充実させたり、 折り込みページ を活用して食品や料理、献立の写真を充実させたりして、生徒の 興味・関心 を引き出し、学習を深めることができるように工夫されている。 ⑤ 学校給食 と関連付けて指導できるように配慮されている。	→①p.20-105 →②p.22-25 →③p.66-67, 72-75, 80-83 →④p.33-41, 66-69, 72-77, 80-95など →⑤p.24, 43, 90など
50	言語能力 を育成できるように配慮されているか。	①国語科の指導との関連や生徒の発達段階に十分配慮して常用漢字を使用し、中学生が未学習の常用漢字には、全てふり仮名が付されている。 ②生徒の ワークシート例やレポート例 を充実させて、目的に応じて書く能力が高められるように工夫されている。 ③「話し合ってみよう」といった 始めの活動やロールプレイング などの実習例を充実させ、話し合う能力などを高めるように工夫されている。 ④家族や地域の人との関わりを促す活動を設け、 コミュニケーション能力 を高めるように工夫されている。 ⑤ 生活の課題と実践 では、実践例や発表の仕方をまとめるとともに、実践例をレポート、プレゼンテーションソフトウェア、ポスター、新聞など 具体物で例示 し、発表例を入れるなどして、書く能力やプレゼンテーション能力を高めるように工夫されている。 ⑥「 言葉のページ 」では、衣食住に関する独特な言い回しや名称についてまとめ、言葉の意味を理解することで家庭分野の学習をスムーズに進めることができるように工夫されている。	→①全体 →②p.30, 111, 176, 241, 249など →③p.22, 26, 108, 110, 262-263など →④p.90, 220, 229, 242-245, 261など →⑤p.270, 272-277 →⑥p.286-287
51	情報活用能力 を育成できるように配慮されているか。	①必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて 情報を得たり、情報を整理したり、発信したり できるよう例示を取り上げている。 ②「生活の課題と実践」では、 コンピュータ等を用いたまとめと発表の仕方 を具体的な成果物で示されている。	→①p.195, 197, 270, 291, 巻末付録など →②p.270, 273など
52	情報モラル について、十分な取り扱いがされているか。	① 情報モラル については、技術分野との連携を図りながら、オンラインゲームのトラブルについて取り上げ考えさせるなど、特に内容Cにおいて扱い、家庭分野としての 情報モラル の学習内容の充実が図られている。 ② 情報モラル については、学習活動に応じて適宜「 情報モラル 」マークを付して注意を促すように工夫されている。	→①p.192 →②p.192-193
53	問題発見・課題解決能力 を育成できるように配慮されているか。	①「 課題の設定→計画→実践→評価→改善→次の課題への挑戦 」といった問題解決のプロセスをガイダンスで丁寧に説明するとともに、生活の課題と実践ではより具体的に解説して、生活の中で自ら問題解決に取り組むことができるように工夫されている。	→①p.8-9, 268-269
54	伝統や文化 に関する教育に配慮されているか。	①日本や郷土に昔から伝わる食、衣服、住まいを中心に、鮮明な写真とともに多数例示を取り上げ、 日本の伝統に誇りや愛着を持ち、継承 できるように工夫されている。	→①②p.90-95, 112-115, 164-167など

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
54		②伝統・文化に関する内容には「 伝統文化 」マークを付して、生徒の意識を高めるように工夫されている。	
55	防災・減災教育について、十分に配慮されているか。	①防災・減災に関する内容を随所に取り上げ、「 防災 」マークを付して、生徒の意識を高めるように工夫されている。 ②巻末付録に「 防災・減災手帳 」が新設され、家庭分野ならではの防災・減災について学習でき、更に教科書本体と切り離して持ち運びできたり、記入欄に自分や家族で考えたことを記入して完成させたりして生活で活用できるように工夫されている。	①p.146, 174-177, 219, 260など ②巻末付録「防災・減災手帳」
56	安全教育について、十分に配慮されているか。	①巻頭に「 実習を楽しく安全に進めよう! 」を設け、実習前、実習中、実習後における注意事項を記述し、安全への意識を高めてから各実習に取り組むことができるように配慮されている。 ②実習や技能、触れ合い体験などにおける安全や衛生のポイントには「 安全 」マーク、「 衛生 」マークを付して、生徒の意識を高めるように工夫されている。 ③調理実習の「 いつも確かめよう 」では、調理の安全・衛生に関する内容がまとめられ、実験写真やイラストなどを設け、 科学的根拠に基づいて理解 できるように工夫されている。	①p.2-3 ②p.54-55, 136-137, 240-241など ③p.54-55
57	消費者教育について、十分な取り扱いがされているか。	① 消費者教育 を重視し、消費者としての自覚と必要な知識が身に付き、行動に結び付くように工夫されている。 ② 悪質商法 、 消費者トラブルの事例 をイラストや漫画で取り上げ、低年齢化する消費者トラブルの防止に役立つように工夫されている。 ③自分たちの消費行動が社会づくりに結び付く「 買い物は投票 」という具体的な考え方を紹介し、責任ある消費者としての自覚と行動を促すように工夫されている。 ④生活者として自立するために大切な「 意思決定のプロセス 」を食生活、衣生活、消費生活の学習で明確に示し、繰り返し学習することで意思決定能力を身に付けることができるように工夫されている。 ⑤消費生活に関わる内容には「 消費者 」マークを付して、生徒の意識を高めるように工夫されている。	①p.44-45, 47, 116-117, 186-207など ②p.192-195 ③p.206 ④p.44-45, 116-117, 196-197 ⑤p.44, 116-117, 186-201, 206-207など
58	人権の尊重や生命・福祉の視点に立った取り扱いがされているか。	①「 バリアフリー 」「 ユニバーサルデザイン 」について取り上げ、高齢者や障がいのある人への理解を深めることができるように配慮されている。 ②基本的なルールやマナーなどに関する内容には「 マナー 」マークを付して注意を喚起し、生徒の意識を高めるように工夫されている。 ③幼児から高齢者まで世代の異なる人、障がいのある人やない人、さまざまな国籍の人、異なる文化や言語を持つ人などが登場し、周囲の人との 共生の大切さ を理解できるように工夫されている。 ④男女がともに子育てに関わっている姿を写真やイラストで示したり、法律などの資料を取り上げたりして、 男女共同参画社会 における男女の協力の大切さが重視されている。イラストや写真の男女の服装や発言内容が、性別による役割固定にならないように配慮されている。 ⑤巻末に「 持続可能な社会を目指して 」を設け、平和で公正な社会をつくるために、年齢や性別、国境を越えて協力することの大切さを考えることができるように工夫されている。	①p.171, 284-285 ②p.241など ③p.4-17, 170-173, 210-266など ④p.16-17, 246-247, 282-283など ⑤口絵⑤-⑥
59	グローバル化に対応する視点に立った配慮がされているか。	①他国から伝わった食、他国の民族衣装や住まいを紹介し、 異文化への理解 が深まるように工夫されている。 ②「 フード・マイレージ 」「 衣服の生産から廃棄 」「 エシカル消費 」「 フェアトレード 」など、グローバルな資料を取り上げ、 国際社会の発展に寄与する態度 を育成するように配慮されている。	①p.68, 76-77, 115, 167など ②p.96-99, 154, 207, 209など
60	教育のICT化やデジタル教科書の利用に対応して学習を進めるための工夫がなされているか。	①インターネットを活用して効果的に学習を進めるためのデジタルコンテンツを用意し、該当箇所 Dマーク を付している。デジタルコンテンツはWebページから無料配信され、授業や家庭での実践で活用できるように工夫されている。 ② 教科書AR （拡張現実:スマートフォンやタブレット型コンピュータの無料アプリを通して紙面上にコンテンツが表示される仕組み）を活用し、楽しみながら学習を進められるように工夫されている。	①p.24, 64, 115, 166-167, 170, 188, 222, 246, 291など ②表紙, p.35, 94-95, 111など

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
60		③制度化された 学習者用デジタル教科書 や、生徒一人一人の学びに有効なコンテンツを多数収録した 学習者用デジタル教材 の発行が予定されている。 ④動画などのコンテンツを収録した 指導者用デジタルブック （教師用指導書付属DVD-ROM）の発行が予定されている。	③ICT関連商品 ④教師用指導書
61	家庭分野のご指導経験の浅い先生方や臨時免許の先生方への配慮がされているか。	①教科書の基本構成は、授業が組み立てやすい「 見開き構成 」になっており、育成すべき資質・能力を各節の冒頭に「 目標 」として明確に示すことで、指導と評価の一体化を図ることができるように工夫されている。 ② 教科書の配列 を3年間の指導計画に合うよう「 自立から共生 」へのストーリーで展開し、教科書を頭から順に進めることで系統的に学習できるように配慮されている。 ③教科書の構成を 1節1時間 の全53節で統一し、座学53時間に実践的・体験的な学習を選択的に取り入れることで3年間の87.5時間が網羅できるように工夫されている。 ④ 豊富な実習例 を取り上げ、生徒や学校、地域の実態に応じて選択することができるように配慮されている。 ⑤ 実物大写真や折り込みページ 、 子どもの視界体験眼鏡 など、生徒の興味・関心を高めて深く学べる資料が効果的にちりばめられている。 ⑥質の高い動画やシミュレーションなどを無料で利用できる Dマークコンテンツ が用意されており、専門ではない内容でも安心して師範し、指導できるように工夫されている。	①口絵③-p.1 ②③口絵①-② ④p.63, 80-89, 142-153, 230-231, 242-247など ⑤p.33-39, 226, 巻末付録など ⑥p.291など
62	先生の働き方改革につながる配慮がなされているか。	① 学習者用デジタル教科書 や 指導者用デジタルブック （教師用指導書付属DVD-ROM）などを発行予定で、動画等の資料がいつでも確認でき、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるほか、 特別支援教育に対応 することができるよう配慮されている。 ②教科書の縮刷版に解説を加えた「 授業展開編 」のほか、「 入門編 」「 指導計画・評価編 」「 研究編 」「 実習編 」「 ワークシート編 」「 掛図 」「 DVD-ROM 」など、内容が充実した 教師用指導書 で、授業前の準備や授業後の学習評価に役立つ資料を掲載している。 ③教科書の学習内容が全国の年間指導計画の調査に基づいた配列となっており、目次を見ることで3年間の学習を見渡し、 カリキュラムの見通し を持つことができるよう工夫されている。 ④各節がそれぞれ1時間で扱える内容でまとめられ、かつ紙面が「 導入 」「 展開 」「 まとめ 」の流れで構成されているため、1時間の授業の見通しを持つことができるよう工夫されている。	①ICT関連商品、教師用指導書 ②教師用指導書 ③口絵①-② ④口絵③-p.1
63	主権者教育への配慮がされているか。	①将来を担う子供たちに、国家・社会の形成者としての意識を育むため、 社会を支える一員 として、家族・地域の人々と協力・協働する大切さに気付くことができるように工夫されている。 ②自らの問題として主体的に考え、判断するといった学習活動を豊富に取り上げ、 実践的・体験的な学習活動 を通して、持続可能な社会を目指すことができるように工夫されている。 ③4編「 私たちの消費生活と環境 」の内容において2022年4月から 成年年齢が18歳 に引き下げられることを明記し、意識が高まるように配慮されている。	①p.4-17, 210-266 ②p.8-9など ③p.190など
64	オリンピック、パラリンピックに関する指導ができるように工夫されているか。	①資料「 スポーツと栄養 」や、公認スポーツ栄養士からのメッセージなど、 スポーツに親しむ資料 が充実している。 ② オリンピック・パラリンピック の選手の制服を例に、衣服の役割を考える活動など、身近な生活と結び付けて考えられるように工夫されている。	①p.29 ②p.108
4 表記・表現			
65	生徒の 学習意欲 を喚起し、主体的な学習を促す表現が工夫されているか。	①生徒が意欲的に学習に取り組めるように、イラストや写真、レイアウトを工夫し、 楽しい紙面 になるように工夫されている。 ②大きく鮮明な写真や図版を多数掲載し、生徒の学習への意欲を喚起するように工夫されている。 ③生徒などのキャラクターによって、教科書に親近感を持たせるように工夫されている。 ④各節のタイトルは、当該の学習活動を端的に表現するように工夫されている。	①②③④全体